

☆待降節第1主日(12月3日)の聖書朗読☆※主任司祭からの解説があります。

第一朗読(イザヤの預言 63章16-17,19節 64章2-7節)

主よ、あなたはわたしたちの父です。

「わたしたちの贖い主」これは永遠の昔からあなたの御名です。

なにゆえ主よ、あなたはわたしたちをあなたの道から迷い出させ

わたしたちの心をかたくなにして

あなたを畏れないようにされるのですか。

立ち帰ってください、あなたの僕たちのために

あなたの嗣業である部族のために。

どうか、天を裂いて降ってください。御前に山々が揺れ動くように。

あなたが降られれば、あなたの御前に山々は揺れ動く。

あなたを待つ者に計らってくださる方は

神よ、あなたのほかにはありません。

昔から、ほかに聞いた者も耳にした者も目に見た者もありません。

喜んで正しいことを行い

あなたの道に従って、あなたを心に留める者を

あなたは迎えてくださいます。

あなたは憤られました、わたしたちが罪を犯したからです。

しかし、あなたの御業によって、わたしたちはとこしえに救われます。

わたしたちは皆、汚れた者となり

正しい業もすべて汚れた着物のようになった。

わたしたちは皆、枯れ葉のようになり

わたしたちの悪は風のようにわたしたちを運び去った。

あなたの御名を呼ぶ者はなくなり

奮い立ってあなたにすがろうとする者もない。

あなたはわたしたちから御顔を隠し

わたしたちの悪のゆえに、力を奪われた。

しかし、主よ、あなたは我らの父。

わたしたちは粘土、あなたは陶工

わたしたちは皆、あなたの御手の業。

## 答唱詩編（詩編80）

神よわたしに目を注ぎ、強めてください手をさしのべて。

イスラエルを牧するかたよ、耳を傾けてください。  
ヨセフを羊の群れのように導くかた、  
光を放ってください。  
ケルビムの上に座しておられるかた。

すべてを治める神よ、あなたの目を注いで、  
またこのぶどうの木を顧みてください。  
あなたがご自分で植えられた苗と、  
強められた若枝を守ってください。

あなたの手はあなたの右腕である人の上に、  
強められた民のうえに。  
わたしたちはあなたから離れることなく、  
いのちであるあなたを呼び求める。

## 第二朗読（使徒パウロのコリントの教会への手紙 | 1章 3-9節）

皆さん、わたしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、  
あなたがたにあるように。

わたしは、あなたがたがキリスト・イエスによって神の恵みを受けたことについて、いつもわたしの神に感謝しています。あなたがたはキリストに結ばれ、あらゆる言葉、あらゆる知識において、すべての点で豊かにされています。こうして、キリストについての証しがあなたがたの間で確かなものとなったので、その結果、あなたがたは賜物に何一つ欠けるところがなく、わたしたちの主イエス・キリストの現れを待ち望んでいます。主も最後まであなたがたをしっかり支えて、わたしたちの主イエス・キリストの日に、非のうちどころのない者にしてくださいます。神は真実な方です。この神によって、あなたがたは神の子、わたしたちの主イエス・キリストとの交わりに招き入れられたのです。

## 福音朗読 (マルコによる福音書 13章 33-37節)

気をつけて、目を覚ましていなさい。その時がいつなのか、あなたがたには分からないからである。それは、ちょうど、家を後に旅に出る人が、僕たちに仕事を割り当てて責任を持たせ、門番には目を覚ましているようにと、言いつけておくようなものだ。

だから、目を覚ましていなさい。いつ家の主人が帰って来るのか、夕方か、夜中か、鶏の鳴くころか、明け方か、あなたがたには分からないからである。主人が突然帰って来て、あなたがたが眠っているのを見つけるかもしれない。あなたがたに言うことは、すべての人に言うのだ。目を覚ましていなさい。

## 朗読解説 一主任司祭より皆様へ一

ようやく12月らしい寒さになってきました。この寒さの時期に教会は新たな救いの歴史の暦を始めます。すなわち神の救いを呼び求める心呼び覚ますためです。待降節です。私たちはこの寒い季節に救い主を待ちわびる気持ちを高めていくようにしましょう。

また今日は宣教地召命促進の日です。私たちの信仰は過去のたくさんの宣教師、宣教女によってもたらされたのです。また今日は例年では日本にイエス・キリストをもたらした聖フランシスコ・ザビエル司祭の祝日で、日本の宣教開始の日を祝う日でもあります。当時極東と言われたアジアの地に福音のメッセージがもたらされたのです。感謝を表しつつ、次代の信仰者を育てる宣教召命が一人でも多く与えられるよう祈りましょう。

## 第一朗読(イザヤの預言 63章 16-17,19節 64章 2-7節)

イザヤは主に対し「あなたは私たちの父です」と神なる主に呼びかけています。また「私たちの贖い主」とも呼んでいます。イスラエルの民の歴史物語を通して、現代の私たちは何を呼びかければいいのでしょうか。今の

私たちの世界も多くの敵に囲まれ、信仰が脅かされています。私たちの生き方も自己中心的な生き方で神との一致した生活が途絶えがちになっています。このような生き方から神を愛し隣人を愛するという元の生き方に変えるには神に呼びかけて、私たちの思いを届けることが必要です。

### 答唱詩編（詩編80）

イスラエルの人たちはここでも神に呼びかけています。耳を傾けて私たちの叫びを聞いてくださいと。また、私たちに目を注いでくださいと。主なる神は父であり、私たちの呼びかけに必ず応えてくださるとの信仰の呼びかけです。

### 第二朗読（使徒パウロのコリントの教会への手紙Ⅰ 1章3-9節）

パウロはコリントの教会への神の恵みに感謝しつつ、信徒の皆さんの確かな信仰に対して、「主もまた最後まであなたがたをしっかりと支えて、非の打ちどころのないものにしてくださいます」と述べています。イエスは私たちの信仰をただ、その信仰がしっかりと育つように見ておられるだけでなく、その信仰がますます育つように導いてくださるのです。

### 福音朗読（マルコよる福音書 13章 33-37節）

「目を覚ましていなさい」とイエスは言われます。チコちゃんの「人生、ぼーっと生きているんじゃねーよ」の言葉が思い出されます。起きていても目が覚めずにいる人もいます。主の到来はいつになるかわからないからです。目を覚ませというのは、何か恐ろしいことが起こらないようにとかいうのではなく、花婿が喜びの姿で帰って来られるのを喜びの気持ちで「今か、今か」と待つ心の在り方です。東の国の博士たちはいつも星空を見て待っていたのでしよう。羊飼いたちも夜の闇の中でも、羊たちを守るために寝ずの番をしていたのでしよう。自分の務めを果たしつつ目を覚ましていることなのです。



待降節のシンボル

**P.S.**

**12月6日(予定)以降幼稚園の保育室増設工事が始まります。教会前の幼稚園駐車場は3月末まで使用できなくなります。自家用車は園庭へ、自転車はマリアさま横のアスファルトのところに停めてください。ご協力お願いします。**

**カトリック足立教会  
主任司祭 野口重光**